

「桜」前日夕食会補填 安倍氏を振り返る

安倍晋三前首相の政治団体が「桜を見る会」前日に主催した夕食会「前夜祭」をめぐる、会場となったホテルへ安倍氏側が約900万円を補填していたとされる問題。当初から指摘されていた通りの構図だったわけだが、そうすると、

あらためて際立つのは、安倍氏のこれまでの説明の荒唐無稽さだ。早くも「秘書が…」という言い訳も流布されているが、それでは済まされない答弁の数々を振り返る。

(木原育子、中沢佳子)

迷答弁 荒唐無稽



今年1月、衆院予算委で答弁する安倍首相(当時)＝国会で

契約の主体は個人
ホテル見積書ない
いちげんとは違つ

夕食会は、二〇一三年から、「桜を見る会」前日に開いてきた盛大なパーティーだ。安倍前首相の地元支援者向けの「桜を見る会」ツアーに組み込まれたプランの一つでもあり、東京都内の観光名所を巡った後、安倍夫妻も出席するこの会

参加者の中には、悪質なマルチ商法だとして消費者庁から業務停止命令を受けた仮想通貨販売会社「48ホテルディングス」の社長だった淡路明人被告も東京地

検特捜部が別事件の組織犯罪処罰法違反の罪で起訴も粉れ込んでいた。淡路被告が夕食会で安倍夫妻らと並んで撮った写真が、会員拡大に利用されていたことが判明するなど、そもそも単なる夕食会とは言い難い面がある。

桜を見る会をめぐる疑惑が火を噴き始めた約一年前、この夕食会についての疑問も同様に浮上。だが、安倍氏の国会答弁や記者団への説明は、「アクロバット言い訳」としか表現できないものばかりだった。

一月三十一日の衆院予算委で、山井和則氏(当時無所属、現立民)が夕食会の契約者について問うと、安倍氏は「主催はわたしの後援会だが、契約の主体はそれぞれ個人が行っている」「ホテルとの契約主体は、参加者個人になる」と述べた。

社会通念上、八百人の参加者が一人一人ホテルと契約を結んだというのは、およそあり得ない話だ。ただ、安倍氏は夕食会について政治資金収支報告書に記載しておらず、契約したのも後援会だと認めてしまえば、政治資金規正法に抵触

が用意されていた。規模は年々膨れ上がり、一九九年には八百人が出席。

二〇一九年の七回の夕食会の会場は、四回がホテルニューオータニ(東京都千代田区)、三回がANAインターコンチネンタルホテル東京(港区)。いずれも日本を代表する高級ホテルだが、会費は格安の五千元。一九九年はニューオータニの「鶴の間」で開かれた。

「ホテル側から見積書の発行はなかった」とし、夕食会当日は「会場入り口で(安倍氏の)事務所の職員が参加者から一人五千円の参加費を集金し、ホテル名の宛名空欄の領収書を手交し、受け付け終了後に集金した現金をその場でホテル側に渡した」と説明。続

することを自ら認めることを意味する。

これを何とか避けたかったらしい。自説の補強のつもりか「例えば、何十人かの会合を開くことについてレストランなり旅館なりで行う場合、参加者が個々に支払うのと同じ。アレンジの中でホテル側から五千元だと申し渡された」と付け加えた。

二月十七日の衆院予算委では、領収書や明細書の存在について議論が及んだ。安倍前首相は、用意した答弁書から終始目をそらさず慎重に読み上げた。

「ホテル側から見積書の発行はなかった」とし、夕食会当日は「会場入り口で(安倍氏の)事務所の職員が参加者から一人五千円の参加費を集金し、ホテル名の宛名空欄の領収書を手交し、受け付け終了後に集金した現金をその場でホテル側に渡した」と説明。続

「エイズの追跡」

ラーやタイツの販売が伸びつつ「週末に期待している」(同)とこづ。

えるまでの期間が長く、「日本経済全体に、大きな効果を与えたい」と話している。

銘柄	終値	前日比
ソフトバンク	1840	▲64
NTTコム	2767	▲60
楽天	3991	▲45
東証イン	2098	▲160
グループ	896	▲1
ソフトバンク	1035	▲33
ソフトバンク	344	▲4
ソフトバンク	206	▲7
ソフトバンク	177	▲139
ソフトバンク	1203	▲6
ソフトバンク	100	▲17
ソフトバンク	72	▲19
ソフトバンク	1928	▲416
ソフトバンク	416	▲179
ソフトバンク	390	▲42
ソフトバンク	99	▲14
ソフトバンク	898	▲14

銘柄	終値	前日比
ソフトバンク	1840	▲64
NTTコム	2767	▲60
楽天	3991	▲45
東証イン	2098	▲160
グループ	896	▲1
ソフトバンク	1035	▲33
ソフトバンク	344	▲4
ソフトバンク	206	▲7
ソフトバンク	177	▲139
ソフトバンク	1203	▲6
ソフトバンク	100	▲17
ソフトバンク	72	▲19
ソフトバンク	1928	▲416
ソフトバンク	416	▲179
ソフトバンク	390	▲42
ソフトバンク	99	▲14
ソフトバンク	898	▲14

銘柄	終値	前日比
東証イン	2098	▲160
グループ	896	▲1
ソフトバンク	1035	▲33
ソフトバンク	344	▲4
ソフトバンク	206	▲7
ソフトバンク	177	▲139
ソフトバンク	1203	▲6
ソフトバンク	100	▲17
ソフトバンク	72	▲19
ソフトバンク	1928	▲416
ソフトバンク	416	▲179
ソフトバンク	390	▲42
ソフトバンク	99	▲14
ソフトバンク	898	▲14

静岡製機の大形ヒーター 同社提供

ダイキン工業の換気ができる家庭用エアコン

ラーやタイツの販売が伸びつつ「週末に期待している」(同)とこづ。

えるまでの期間が長く、「日本経済全体に、大きな効果を与えたい」と話している。

こちら特報部

本当に知らなかった？

あまりに無理な構図づくりのためか、嘘を通り越して傲岸な発言もあった。一月二十七日の衆院予算委で、高級ホテルで「一人五千円」という会費設定について、今井雅人氏(同)に「不自然だ」と問われると、安倍氏は「相手によって違いますからね。何回も使って信用できる方と、いちげんの方ではですね、商売の上においては。役所仕事ではないわけです」と、首相かつお得意様として一般人とは違う、と自慢げに語った。

一月四日の衆院予算委では、「仲介者の信用」、安倍事務所の関係者なら問題ないだろうということ、価格はホテル側が主体的に設定した」とも答弁。黒岩宇洋氏(立民)が「安倍事務所の信頼に裏付けされた値段」といつなら、それは買収だ」と指摘すると、安倍氏は気色ばんで、「買収という非常に強い言葉を使われましてけれど、極めて失礼な発言。そう言うなら、もっと証拠をあげていただきたい」と威嚇した。安倍氏の言い訳の数々



は、あまりに荒唐無稽だ。よしんば秘書が事実と異なる説明をしたとしても、安倍氏本人はおかしいと考えなかったのか。首相の側近たちが、安倍氏本人と秘書を交えて作り上げた言い訳だろう」とは、「官邸官僚」の著書があるノンフィクション作家の森功さん。官邸の業務に通じ、政策を仕切る「官邸官僚」の影を感じるといふ。「政策絡みの国会答弁は、首相補佐官兼首相秘書官だった今井尚哉氏ら側近が、各省庁が出す答弁原案や想定問答をチェックし、手直しを加えて安倍氏に渡していた。同じように今回の筋書きを練ったのでは、練った言い訳にしては、例

側近が筋書きか

えば、ホテル側が破格の五千円という額を提示したというなら、ホテルから安倍氏への違法寄付になりかねない。そここそ問題なのに、安倍氏は平然と言いつけた。森さんは「苦しくてもそう言い逃れするしかできないだろう。もともと違法性が濃厚な問題。隠そうとすればどうしても無理が生じる。ただ、ホテル側が口をつぐめば、世論を押し切れるという甘い考えもあったのでは」と語る。



●公選法違反などの疑いで安倍氏らに対する告発状を提出するため、東京地検に入る弁護士ら＝5月21日、東京・霞が関から「桜を見る会」で乾杯をする安倍首相(当時、最後列右から2人目)＝2019年4月13日、新宿御苑で

して安倍氏が事務所に確認した際、秘書は虚偽の説明をし、安倍氏が事実を知ったのはつい最近との報道もある。しかし、政界界の事情に詳しいジャーナリストの鈴木哲夫さんは「お金のことを信頼できる秘書などに任せ、実態を知らない政治家は多い。ただ、今回は補填した差額や前夜祭の規模が大きい。一連のカラクリを、安倍氏本人が知らなかったとは考えにくい」と指摘する。

一連の問題が昨年に発覚の中で、苦しいつじつまあわせが「安倍氏にごく近い人物」によって作られたと耳にしたという。「政権全般の危機管理は、官房長官だった菅義偉首相。でも、桜を見る会関連の危機管理は「首相周辺」で、一連の答弁や言い訳も彼らが担った」と打ち明ける。秘書の責任で落としどころをつけ、安倍氏本人の立件までいかないと見方も強い。鈴木さんは「刑事責任と政治責任は別。一国の元首相たるもの、『知らない』『秘書のせい』では済まない。それに、説明責任

秘書のせいにするな・国民に嘘なら大罪

を果たさず、嘘の答弁を続けたがために、国会で審議すべきなのにできなかった案件も多い。国会での議論の時間を無駄に費やした責任は重い」と断じる。

政治評論家の森田美さんも「一、二回ならともかく、五年間まるで知らなかったというのは、おかしい。いくら何でも本人も分かるものだ」とあきれける。野党は答弁の矛盾を巡り、安倍氏の証人喚問や参考人招致を要求。だが、菅首相は「国会が決めること」と及び腰だ。安倍氏は二十四日、「説明責任を果たしていない」ということではない」と語ったが、森田さんは「こう苦言を呈する。こんなに嘘ばかりついた首相なんて前代未聞。政治の論理では、首相が国民に嘘をつくのは大罪だ。安倍氏は国会なり会見なりで、説明するべきだ」

デスクメモ

もし今春、検察庁法改正案が成立し、黒川弘務元東京高検検事長が「官邸の番犬」として健在だったら、こうした安倍氏のむちゃな言い訳の虚構が暴かれることもなかったかもしれない。検察庁法改正案をつぶしたのは世論の声。そして世論は今、安倍氏自身による説明を求めている。(歩)

話題の発掘

Table with multiple columns containing names and numbers, likely a list of names or a data table.